

重要文化財「木造千手観音坐像」の指定書を伝達しました

木造千手観音坐像は、平成29年9月15日付で、国の重要文化財に指定され、併せて脇侍の木造不動明王立像と、木造毘沙門天立像が重要文化財の一部となる附指定になりました。



1月30日、文部科学省から平成30年12月25日付けで交付された指定書を、長い間、観音坐像を地域の宝として守ってきた「お薬師様文化財保存会(田尻地域)の皆さんに伝達しました。



▲千手観音坐像(写真上)、不動明王立像(写真右)、毘沙門天立像(写真左)

れる仏像のうち、奥州藤原氏の2代基衡のために作られた一群と類似する作風がうかがえます。そのことから、12世紀後半、平泉の寺院で造仏に携わった仏師が作った作品だと考えられています。

東北地方の仏像制作の様子を知るうえで重要な遺品であるとして、重要文化財に指定されました。現在は、松山ふるさと歴史館で常設展示を行っており、成後は、庁舎内の収蔵室に保存・展示します。

世界農業遺産アクションプランを推進しています

大崎地域世界農業遺産推進協議会では、豊饒の大地「大崎耕土」を保全・活用するアクションプランに基づき、総合的な施策の調整と展開のために「大崎地域世界農業遺産アクションプラン推進会議」を組織しています。

推進会議では、「ツーリズム(観光)を核とした交流人口の拡大」、「ブランディング(価値の共有と向上)」、「人材育成の推進」の3つに重点を置いて検討を進めています。

特に、大崎耕土の農産物などをブランドとして認証する制度は、平成31年度中の確立を目指しています。農業遺産の価値を伝え、持続可能な営みへの支援が狙いです。農産物の栽培と、生物多様性への配慮を合わせて総合的に認証する予定です。

アクションプラン推進会議の各部会の役割

- フィールドミュージアム構想検討部会
大崎耕土全体を屋根のない博物館のように構築し、地域資源の魅力の再発見を通じた動的な保全と活用を図る
- 農産物等認証制度検討部会
地域資源の価値を通じた持続的農業の推進
- 人材育成検討部会
農業の知恵の継承と価値の共有

校・高等学校での出前授業の実施、農業団体など各種団体での出前講座により、農業遺産への理解促進を図っています。

今後、豊饒の大地「大崎耕土」を各産業分野と連携し、将来にわたって生かす取り組みを推進していきます。アクションプランの詳細は、世界農業遺産推進課(☎22281)にお問い合わせください。

Discover Osaki

地域発 お・ら・ほ・の・ま・ち

自分の住む地域を「おらほ」というと、親しみや愛着を感じませんか。おらほの地域づくり、おらほの隠れた名所、おらほの美味しい特産品、おらほの伝統のまつり、おらほのイベント……。そんな、愛してやまない「おらほの地域」を発信します。



鳴子温泉発

雪国が魅せる優しいともしび

2月2日、鳴子温泉地域中山平地区で、「スノーランタンフェスタin中山平2019」が、中山コミュニティセンターで開催されました。



▲完成したオブジェに火をともし子どもたち

参加者は、蜜ろうを使ったオリジナルのろうそくを作り、その後、雪のオブジェ作りが行われました。小ささまざまなブロックを積み上げて、お城や雪だるまの形をしたものなどが作られました。幼なじみ3人組で参加したという小学生も、寒さに負けずにオブジェ作りを楽しんでいました。



▲かわいらしい雪のオブジェが心を和ませます

日が暮れて、ろうそくに明かりをとると、白銀の世界に暖かなオレンジ色が広がり、幻想的な空間に包まれました。

古川発

大崎市産の食と音色で、贅沢のひととき

2月14日、大崎市産の食材と大崎地域出身の音楽家の演奏を一緒に味わえる「ふるかわ産直厨房～食・楽コンサート～」が開催されました。

毎年、古川地域の認定農業者が愛情込めて作った農畜産物を堪能でき、一流の音楽にも浸れることから、大勢の人が来場します。17回目となった今年も約120人が来場し、大崎市産仙台牛のサーロインステーキや『ささ結』、春菊やいちごなどがふるまわれました。



▲和洋折衷の料理が次々に提供されました。

また、ジャズプレイヤーの名雪祥代さんのサクソ演奏では、一度は聞いたことがある名曲の披露や、セッション(即興演奏)の醍醐味を体験できるパフォーマンスで会場を沸かせていました。



▲美里町出身のサクソプレイヤー 名雪祥代さん

田尻発

地元愛あふれる自慢の鍋を召し上げれ

1月27日、大貫地区公民館、体育館を会場に第13回大貫かんぼやま祭りが開催されました。ステージ発表や手芸などの作品展示、メインイベントの鍋料理コンテストに、たくさんの来場者でにぎわいました。

鍋料理コンテストには、大貫地区内から11の自治振興会が出場し、趣向を凝らしたメニューで来場者を楽しませました。11種類の鍋はバラエティに富み、野菜たっぷりのトマト鍋やはっと鍋、中にはイノシシの肉を具材にしたボリューム満点の鍋が振る舞われました。

幼稚園児から高齢者まで、地区民みんなが協力して盛り上げる一大イベントに、地域の一体感が感じられました。



▲各地区自慢の鍋を来場者に振る舞い、互いに笑みがこぼれます。

24日	21日	17日	16日	15日	14日	12日	9日	3日	1日	2019
●天皇陛下御即位30年祝意記帳所開設(25日)市役所本庁舎	●大崎地域認定農業者協議会	●図書館講演会「知の地域づくりと図書館への期待」	●松山老人クラブ連合会第21回「ねたきりゼロ」運動のつどい	●平成31年第1回大崎市議会定例会(3月8日)	●ふるかわ産直厨房(食・楽コンサート)	●平成30年所得税と市県民税の申告相談(3月15日・市内7地域)	●宝の都(くに)・おおさき大人の遠足「世界農業遺産」を五感で楽しもう	●第48回田尻クロスカン トリー大会	●平成31年第1回大崎市議会臨時会	2月の主な出来事